

特集

保健師がつなぐ 地域医療

「地域医療構想」を 見据えて



超高齢社会となる2025年を見据え、「地域医療構想」の策定が各都道府県で進められている。しかし、地域医療構想と保健師の関わりは、まだ見えていないのが現状である。

本特集では、実際に地域医療構想の策定に関わった保健師の取り組みや、地域において医療機関と連携して在宅医療体制や救急医療体制を構築した取り組みを紹介する。地域医療の変化に伴い多組織間の協働がこれまで以上に求められる中、保健師はどのような役割を果たすべきかを考える。

●地域医療構想の政策目標と課題

保健師への期待

●滋賀県における地域医療構想の策定

県および東近江保健所の取り組み

●地域の医療機関と専門職をつなぐ保健所保健師の関わり

北海道十勝医療圏における取り組み

●保健所が調整役となって推進する救急医療体制づくり

茨城県鹿行保健医療圏における取り組み

●多職種連携による在宅医療・療養者支援

山梨県中北保健所管内における取り組み